

令和3年度「英知を結集した原子力技術・人材育成推進事業」

課題解決型廃炉研究プログラム 募集説明会 (R3.3.24)

Q&A

【募集内容について】

Q：大学院修士課程等の学生を若手の研究責任者とすることは可能か。

A：学生は研究責任者になれません。ただし、募集要項の51ページのQ&Aにある通り、学生が業務参加者として参画することは可能です。

Q：工学的な課題を募集されているが、生物学的な評価を解析する課題が青色に入っているか。

A：生物学的な評価の研究が具体的に廃炉にどのように関係するのかをしっかりと説明ができるのであれば該当します。例えば、単純に環境影響評価の調査ということになると、今回のプログラムからは対象外となります。廃炉との関係性をしっかりと生物学的な評価とどうつながっていくのかというところを説明いただく必要があります。

Q：39歳以下の研究者の参画は、連携機関であるJAEA職員でも大丈夫か。

A：JAEAの職員でも可能です。

【様式について】

Q：様式2の続きで実施体制図があり、研究機関ごとに誰が参画するかまとめて記載すると思うが、前の段階では、実施項目ごとに分けて記載することになっている。項目ごとに例えばA大学、B大学が混ざってくる場合、実施体制図はどのように書けば良いか。

A：項目に対して〇〇大学の方が①を担当、②については××研究所の方が担当とする場合、(1)の下に①②と書き分けていただき、①は〇〇大学の研究者A、B、C、②は××研究所のD、E、Fとして、記載ください。(様式2)4. 実施体制(体制図)に示されている内容は例のため、見やすさ、分かりやすさを重視して記載ください。

Q：様式7は全員分が必要か。

A：全員分が必要となります。分野が違う研究者であっても、過度の重複等の確認に使用するため、現在実施中のテーマがあればこちらに記載ください。

以上